

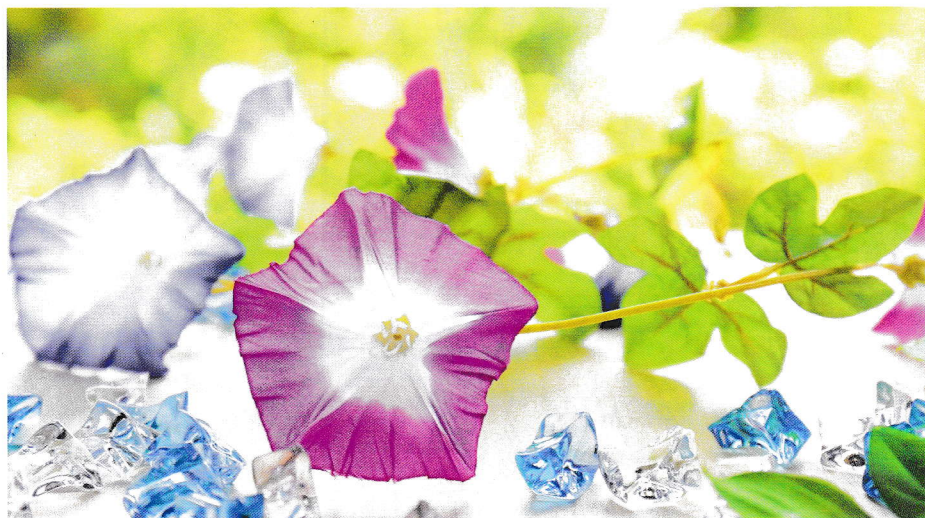
寺報

令和8年(2026)孟蘭盆会第166号(1)

発行 福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺
TEL 024(548)1240
FAX 024(573)1202
ホームページ <http://www.choshuin.jp/>
e-mail info@choshuin.jp



発行責任 渡辺 祥文
編集責任 渡辺 秀憲



お盆には、亡き人々も、
生きている人々もみな里
帰りします。みなが盆棚・
仏壇を中心に集まる懐し
く楽しい一時です。
お盆の大切な一時をみ
なで語り、先祖とわたし
たち、そして生きている
ものの「絆」を大切に過
ごしたいものです。

お詫びとお願い

info@choshuin.jp

e-mail が不安定で誠に申し訳
ありませんでした。

今回、前の e-mail アドレスに
戻しましたので宜しく願いいたし
ます。かなりの期間ご迷惑をおか
けいたしました。上記アドレスで
お願いいたします。



こちらからお寺の
様々を配信しています。
どうぞ見て頂きますよ
うにお願いいたします。

お盆は正式には、孟蘭盆会とい
います。略して「お盆」となりました。
中国で作られたお経である「仏説・
孟蘭盆経」が由来とされますが、中
国の祖霊信仰に日本の農耕儀礼が交
じり仏教に取り入れられ、中国と日
本で広まりました。現在までに約千
五百年の歴史を有すると言われてい
ます。

★写経会

八月の写経会は八月二十二日
(第四土曜日)です。

令和八年 孟蘭盆会 山主拝

★仏教会主催とうろう流し

八月十七日(福島市仏教会主催)
例年通りの日時で行われます。
お申込みはお寺へお願いいた
します。

★第四十一回み魂まつり

盆踊り大会
八月十五日(長秀院護持会主催)
例年通り八月十五日に盆踊り
大会を行います。

案内板

— 暑中お見舞申し上げます —
う ら ぼん え
孟蘭盆会

雲水日記 その二十四

渡辺 秀憲

涼しくすら感じた梅雨も明け、夏の暑さ
もいよいよ佳境となつてまいりました。皆
さんいかがお過ごしでしょうか。

今回は雪の永平寺についてでした。今回
は永平寺の年越しについてです。

十二月八日の「成道会」を終えると、永
平寺は徐々に年越しの準備を始めます。普
段のお勤めの傍ら、「大煤払い」という年
末の大掃除が実施されます。その後境内の
伽藍や仏様方へ、お餅や門松、しめ縄といっ
た正月飾りが行われ、大晦日に備えるので
す。

ご存知の方もいらっしゃるかと思います
が、永平寺の除夜の鐘は、NHKのテレビ
番組「ゆく年くる年」で中継されたことで
有名になりました。年越しに合わせ、永平

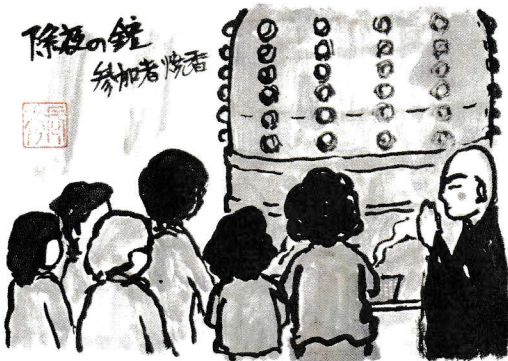
寺の役寮と修行僧が、境内で最大の鐘「大
梵鐘」を撞いていきます。百八つの鐘を撞
いたのち、参拝者の皆さんは山門前にて焼
香となります（かつては山門から法堂・承
陽殿まで解放されていましたが、私のいた
時には防犯等の理由で山門のみ解放となっ
ていました）。放送で取り上げていただい
ていることもあつてか、参拝者の列は朝を
超えて、元旦の夕方まで途切れることはあ
りません。

ここで、大晦日から元旦にかけて山門前
をずっと出入りする参拝者の安全のため、
直歳寮が活躍することになります。焼香台
の横に一人が必ずついて参拝者を案内しつ
つ、炭の火が消えたり風で飛んだりしない
よう気を配ります。いつでも炭を補充でき

るよう、直歳寮の部署の囲炉裏の火を絶や
さぬ番も務め、日が昇ったら普段のお務め
もこなします。夜通しのお務めを間断なく
果たすため、交代しつつ仮眠をとりながら
役割を果たすのです。

元旦を終え、三が日の間は、一部の行事
や必要最低限のお務め以外はお休みになリ
ます。作務や坐禅、朝昼晩のお務めもない
のは一年を通して三が日のみです。境内清
掃を担う直歳寮や、ご飯を作る庫院などは
その限りではありませんが、それでも普段
よりははるかに穏やかな時間が流れます。

三が日明け、再びいつもの日常に戻って
も、あまり身
が入らない自
分に気がしま
す。「ずっと正
月だったらな
」と正月ボケを
実感しながら、
今日も今日と
て雪をかくの
でした。





最近、仏事をはじめ様々なことに對して質問を受けることが多くなりました。昔は年配者に聞くことを基本としていましたが、現在はネット検索やA-Iに尋ねることが多いようです。しかし、仏事等は、地域や宗派・寺院によつて種類もありまとめようもないことも事実です。今号より実際に「質問頂いたことを中心にQ&A(質問と答え)」として掲載致します。年配の方は驚くかも知れませんが、慣習や習慣が断絶の危機にあるのだと思つていただいても仕方ないと思います。できるだけわかりやすくお伝えしたいと思います。

Q あらぼん 「新盆」とはどんな行事ですか？ 意味や意義がよくわかりません。普通にお盆とは違うのですか？



A 新盆は「にいぼん」「しんぼん」とも呼びます。「初盆」はつぼんとも言います。亡くなった人が仏の世界、先祖の世界に旅立つてから初めてお盆を迎える行事です。お盆は、日本では仏教伝来から千年以上「あの世から里帰りする期間」として伝えられてきました。あの世に旅立つて初めて迎える里帰りだから特別にもてなし供養するという法要です。昔は各家庭に住職等がうかがいましたが、今は寺院で合同で行う法要が主流となりました。また、「先祖に上がった」というのは四十九日後のことなので、お盆が四十九日の前の場合は、次の年が新盆となります。どうぞほとけ様を大切にしてください。(お盆の意味は一ページをご覧ください。)

今年の夏のこども坐禅会

今年もこども坐禅会の季節となりました。

◆蓬萊学習センター こども広場

令和八年八月五日(午前九時半～十一時)

蓬萊学習センターのこども坐禅会の申込は、学習センターへお願い致します。お寺では直接お受けしませんので(混乱が起きるため)宜しくお願い申し上げます。



ありがとうございます

境内草刈奉仕

長秀院役員・篤志者各位様

仲興寺役員・篤志者各位様

境内美化の草刈奉仕をいつも頂戴しています。高齢化と人手不足でこの寺院も苦悩しています。本当に感謝しております。

八月十七日 福島市仏教会主催

「とうろう流し」隈畔で開催

※とうろうの申込みは例年通り、各寺院へ申込みをお願いします。
(各自独自のとうろうの持込みはありません。)

令和
八年 流灯会

真心を一灯に託して

第43回

福島とうろう流し

花火大会

とき

令和 八月十七日(月) (雨天の場合 八月二十日(木))

ところ

阿武隈川県庁裏隈畔

じかん

午後5時～6時 とうろう受付
午後6時30分 式辞
午後6時45分 法要・万灯供養開始
午後7時15分 花火打上
午後7時45分 花火終了

●とうろうお申込み
二千円(供養料含)

●花火は観覧無料

今年も
Instagram
ライブ配信
実施!

会場に来られない方も、ぜひ配信で幻想的なとうろうと花火の共演をお楽しみください。

※ライブ開始時間は午後7時15分頃を予定

※当日は混雑が予想されます。お子様は必ず保護者同伴でお越しください。



八月八日(土) 午後四時 長秀院慈雲閣

長秀院孟蘭盆供養会 (総供養・新盆供養を行います)

八月十三日(木) 午後四時 仲興寺本堂

仲興寺孟蘭盆供養会 (総供養・新盆供養を行います)

八月十三日(木)～十六日(日)

孟蘭盆会

八月十五日(土)

長秀院盆踊り大会 (八月十五日の夕べ)

八月十七日(月)

流灯会とうろう流し (福島市仏教会主催)

おねがい

お盆前後は行事も多く、住職が不在がちになります。種々の相談等でお急ぎの場合は電話またはFAXにてご確認ください。

電話 〇二四一五四八―二四〇
FAX 〇二四一五七三―二〇二